

# 明桜中だより

北区立明桜中学校  
校長 菊池 修一  
令和7年度学校だより・第12号  
令和8年3月25日発行

## 「学校」は、皆さんにとってどんな場所なのか？



桜のつぼみが膨らみ始めた先週19日、3年生が堂々とこの学び舎を巣立っていきました。卒業式での先輩たちの背中は、義務教育を終えた自信と希望に満ちあふれていましたね。その中で、在校生の皆さんも式中はもちろんのこと、準備・片付けにおいても、積極的に動いてくれて、卒業生の送り出しに貢献してくれました。さて、修了式を迎え、皆さんに改めて問いかけます。「学校とは、皆さんにとってどんな場所ですか？」16日の卒業式予行での校長式辞でお話した「不易と流行」について改めて触れます。

りゅうこう

流行

世の中は猛烈なスピードで変化している現在の状況

変化を恐れず、新しい知識や技術を吸収し続ける

ふえき

不易

どんなに時代が変わっても変わらないもの、変えてはいけないもの

相手を思いやる心、正義を重んじる姿勢、学び続ける

今、世の中は猛烈なスピードで変化しています。これを「流行（りゅうこう）」と言います。新しい技術、新しい言葉、昨日までの常識が今日塗り替えられるような変化の連続です。その変化に柔軟に対応する力を、卒業生の皆さんはこの3年間で身につけてきましたし、在校生の皆さんは現在進行形で学んでいます。しかし、その一方で、どんなに時代が変わっても変わらないもの、変えてはいけないものがあります。

それを「不易（ふえき）」と言います。例えば、「あいさつ」、「時間を守る」といった基本的な人とのコミュニケーションは、いかに時代が変化しても変わらないものです。

「流行」への対応として、「変化を恐れず、新しい知識や技術を吸収し続けること」を忘れてはなりません。そして、相手を思いやる心、正義を重んじる姿勢、そして学び続けるという「不易」をもち続けてください。学校という場所は、中学校卒業後に、この「流行」の荒波の中をこぎ出す準備をすると同時に、自分の中に揺るぎない「不易」の柱を立てる場所なのです。

そして、4月からはじまる令和8年度は、明桜中としても大きな節目を迎えます。それは、2007年に3校が統合し「明桜中学校」が誕生してから、20年の月日が流れます。その新たな決意を込め、令和8年度の学校経営のスローガンは次のとおりです。

## 豊島生まれて20年 明桜中から「あいさつ」を届ける

このスローガンには、地域の伝統を受け継ぎつつ、私たちからポジティブな変化を起こしていこうという想いを込めています。私たちが届ける「あいさつ」は、単なる言葉のやり取りではありません。

- あ・・・ あかるい笑顔で
- い・・・ いっしょうけんめいな姿勢で
- さ・・・ ささえる仲間と共に
- つ・・・ つながる気持ちを大切に



この4つの柱を、明桜中の新たな文化として育てていきましょう。明日からの春休み、新学年に向けた心の準備を整えてください。4月一回来成長した皆さんと、明るい「あいさつ」で再会できることを楽しみにしています。

# 3月の明桜中の生徒たちの活躍

## 3月2日(月曜日) 3年生の受験実践体験記を後輩たちに語りました

1時間目、2年生が体育館に集合し3年生の代表生徒から受験実践体験を直接聞きました。3年生の代表は、すでに高等学校への合格切符を手に入れている生徒で、自分が高校合格を手にするまでの取り組みや考え方、場合によっては失敗したことなどを2年生に伝えていました。どの生徒の話にも共通するのが、「自分が志望している学校には、学校行事や説明会などに早めにそしてたくさん参加することが必要である」ということです。そして、その目標に向けて計画的な学習や定期考査や各教科の提出物などを確実に行うことなど具体的なアドバイスをしていました。実際の先輩の声が2年生にはとても刺激的だったようです。1年生はMEETを通して教室で参加しました。



## 3月4日(水曜日) 生徒会・中央委員会のメンバーが集まりました

予定では「専門委員会・中央委員会」を明日に実施しますが、この日が私の出張と重なったため、今日の放課後（先生方は学年会の会議時間）に校長室に生徒会役員と各専門委員会委員長の生徒に集まってもらいました。今日は、部活動が16時再登校なので代表生徒にも時間があるため、はじめに先月SFの小学校6年生向けに生徒会本部が中心に撮影した動画視聴しました。委員会活動や部活動の場面の紹介なので当然このメンバーも出演しており、自分の場面が出てくると少し照れているようでしたが、とても興味深く楽しんで視聴しました。



後半は、12月に生徒向けに実施した「学校評価アンケート」の結果を生徒に提示し、結果から気付くことを意見交換し、そして4月から新1年生を迎え、さらに明桜中学校を盛り上げていくための方策を考えてもらいました。私から提示した内容としては、令和8年度は明桜中が開校して20年になることを踏まえ、学校のスローガンを「豊島に生まれて20年 明桜中から『あいさつ』を届ける」していきたいと伝えています。具体的には、豊島地区の大きな行事「カップまつり」と「豊島大運動会」へのさらなる積極的参加などをあげています。今後、生徒とも豊島の街を盛り上げていけるよう取り組みを進めてまいります。



## 3月9日(月曜日) よりよく生きるための性教育

3年生徒を対象に、産婦人科の院長先生をお招きして「自分の心と体を守るための性教育」の出前授業を実施しました。情報リテラシーや月経に関する問題から、中学校学習指導要領の内容を一部こえる妊娠・出産や性被害、ワクチンなどの重要性など等幅広い内容で講義いただきました。性に関する知識やスキルだけでなく、性の多様性や人間関係など「性」について考える良い機会となりました。社会環境の変化や情報化社会の進展により、若者を取り巻く環境が変化する中で、SNS等を介しての性犯罪、若年層のエイズ及び性感染症などが課題となっています。これから正しい判断の基で行動できるようにしていきましょう。なお、本日の授業内容は事前に生徒・保護者に伝えており、不都合が生じる場合は養護教諭が別途対応しました。



## 3月11日(水曜日) 学校給食も残りわずか ～ランチルーム給食～

これまで1階にあるランチルームはコロナ禍の影響により、「ランチルーム」としての機能は全くありませんでした。その後、コロナも5類に移行され、対面での会食給食を昨年度の後半から再開し、そして今年度の12月以降、学年ごとにランチルーム給食を進めてきました。ただし、1年生は計画していた時期にインフルエンザの流行拡大があったため、今年度の実施は見送っています。そして、3年生は高校受験も一区切りになったので、3月から日替わりで学級ごとにランチルーム給食を実施しています。食事の配膳は調理員の方々に行っていただいているので、いつも以上に時間があるため栄養士から食事のマナーや栄養についての講義を冒頭に行い、食事がスタートです。どの生徒もおいしそうに、そして笑顔で楽しい雰囲気でした。高校で給食が提供される学校はほとんどないため、多くの生徒にとっては残りの数回の給食が人生で最後となることでしょう。感謝してそして思い出にしてください。



## 3月11日(水曜日) 3.11の教訓を風化させず、自身の自助・共助を

今から、15年前の2011年3月11日午後2時46分頃に、三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東130km付近を震源とする、マグニチュード9.0の「東日本大震災」が発生しました。この震災は、日本国内観測史上最大規模の地震といわれています。この地震が発生し15年が経過してもいまだ行方不明の方もおられ全容は把握されていません。地震により亡くなられた方、そして避難避難生活中に亡くなる災害関連死の方も含め22,230名の人々が亡くなり、またいまだなお2,519人の方が避難生活を送られているとのことです。

本震による震度は、宮城県北部で最大震度7が観測された他、宮城県、福島県、茨城県、栃木県などでは震度6強を観測し、東京都心でも震度5強を観測しました。この地震による被害は、建物の倒壊で下敷きになってしまったり、巨大津波により建物なども含め水に飲み込まれてしまったり、地震後の火災に巻き込まれてしまったり、また福島県にある原子力発電所の被害により地元での生活ができなくなり避難を余儀なくされた方々など様々です。

明桜中では、このあと職員会議のため、午後2時に震度6強の地震が起きたことを想定し、まずは自分の身を守る「シェークアウト訓練」を実施し、その後一足早く1分間の黙祷を行いました。

この東日本大震災後にも、2016年4月14日午後9時26分に発生した「熊本地震」、2018年9月6日午前3時7分に発生した「北海道胆振(いぶり)東部地震」、そして皆さんの記憶にも新しい、2024年1月1日午後4時10分に発生した「能登半島地震」など、多くの人々や犠牲になりいまだ避難生活を余儀なくされている方々があります。また、首都直下地震が、今後30年以内に70%の確率で発生する可能性があると言われており、北区内においては最大震度6強の揺れが観測される予想です。みなさんには、日ごろから防災を意識し、災害発生時に同のような行動をとるべきかをこのような機会を通して考えるきっかけにしてほしいです。そして、自分自身、そして自分の大切な人や仲間が笑顔で生活できるために、東日本大震災などの大きな震災を風化させず、教訓として意識していけるようにしてください。



## 3月16日(月曜日) 卒業式の予行を実施しました

19日(木曜日)の卒業式本番に向けての予行演習を行いました。1・2年生の在校生を含め、全校生徒で一つの空間での時間も残り僅かになりました。今日の予行で、卒業証書授与についても全員とおして行いました。当日は、証書授与の様子をカメラで撮影し、会場サイドのプロジェクターで卒業生の表情を投影する予定です。笑顔で堂々と証書を渡したいです。体調面を万全にして、全校生徒で卒業生の門出をお祝いしましょう。また、卒業生保護者の皆様、お子さまの義務教育修了の晴れ姿をご自身の目、そしてカメラにしっかりおさめてください。



## 3月18日(水曜日) 明桜中での最後の学年集会

今日の1・2時間目は、先日の卒業式予行を受け、卒業証書授与の流れを確認しました。明日の卒業式では卒業生が主役です。そして卒業証書授与の場面は、各個人が主役です。明桜中では、証書授与の場面をカメラで撮影し、舞台正面の両サイドのスクリーンに投影する予定です。学級担任の先生からの呼名に大きな声で返事し、胸を張って、顔を上げ堂々と証書を受け取ってください。卒業式練習の後は、中学生最後の学年集会でした。学年担当の先生方一人一人から、思いのこもったメッセージを卒業生に届けました。笑いあり、ジーンとする場面ありとてもあたたかい雰囲気でした。集会の最後は、生徒へのサプライズで先生方から「さくら」の歌・ハンドベルの演奏を披露しました。そして最後に、学年生徒が学年の先生に向けて学年合唱「さくら」を歌いました。とても感動的な時間が流れました。学年の先生方はいつまでも皆さんの応援団です。明日の晴れの日、皆さん一人一人の立派な姿を、今までもそしてこれからも一番そばにいてくれる保護者の方そして学年の先生方に見ていただけてください。卒業生は、すでに中学校生活の給食は終わっているため、教室で通知表などの配付物を受け取り下校しました。明日は、午前9時過ぎには学校に集合し、中学校生活集大成の「卒業式」厳粛かつ清新な気持ちで式に臨み、有終の美を飾ってください。



# 3月19日(木曜日) 感謝の気持ちを忘れず新たな場での活躍を願っています

明桜中校門前のサクラのつぼみも今まさに咲き出そうとしている3月19日(木曜日)、第19回卒業式を挙行了しました。前日夜の天気予報では、「当日は朝から午前中いっぱい傘が必要」と言われていましたが、午前8時過ぎになっても雨は降らず、卒業生の思いがお天道さまにも伝わったようでした。卒業証書を受け取る前から顔をくしゃくしゃにして感極まっている生徒も多く、とても気持ちの伝わる素敵な卒業式でした。しかし、卒業生にとってこの3年間の中学校生活は、喜怒哀楽の大きくあったのではないのでしょうか。失敗し自信を無くしたこと、友だち関係で悩み涙したこと、親とけんかした後に後悔したこともあったはず。これらの経験の積み重ねの中で、卒業生は義務教育を修了しました。これまで関わってくれた人たち、また、在校生は3年生から明桜中のよき伝統を受け継ぐべく「バトン」を託されました。在校生の式中の動きや歌声もさることながら、準備・片付けの手際よさも素晴らしかったです。この気持ちを大切に、明桜中をさらに盛り上げ、発展させていけるよう精進していきましょう。卒業式での私の式辞、卒業生そして在校生の代表の言葉を掲載します。ぜひご覧ください。



## 式辞

三寒四温を繰り返す中で、校門のソメイヨシノのつぼみは膨らみ、開花を今か今かと待ちわびる今日のよき日、公私ともにご多用の中、まちづくり部 拠点まちづくり担当部長 ○○○ ○○ 様をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、北区立明桜中学校第十九回卒業式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

さて、第十九回卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは今日、九年間にわたる「義務教育」の全課程を修了しました。これまでは、法律や社会、そして何より大人たちの保護の下で、見守られながら生活を送ってきました。これからは、自らの人生をどのように思い描き、どのように歩むのかを、自分自身で決断し進んでいかねばならないステージへと入ります。これから先、皆さんは多くの選択を迫られます。その道が常に平坦であるとは限りません。しかし、その道は決して孤独なものでもありません。今日、この場に立てているのは、皆さんの努力はもちろんですが、幼いころから見守ってくれた家族、切磋琢磨した友人、そして地域の方々の支えがあったからです。この卒業という節目に、「ありがとう」と口に出して感謝を伝えましょう。言葉は、相手に力を与えるだけでなく、口にする自分自身の心も豊かにします。そして、豊かな心で「自分の人生を自分で切り拓く」という覚悟をもってください。その覚悟こそが、皆さんの決断を支える強さになります。

さて、卒業を迎えた皆さんに、ここで紹介したいエピソードがあります。今、スライドで紹介した二名の人物が誰なのかがわかりますか？左側の方は、将棋界の若きエース「藤井聡太(ふじいそうた)」六冠です。そして、右側の方は、「ひふみん」の愛称で親しまれ、今年1月22日に86歳の生涯を終えられた、「加藤一二三(かとうひふみ)」九段です。この「加藤一二三」さんがプロ入りしたのは、今から70年以上前の1954年のことで、史上最年少棋士で、史上初の中学生棋士という華々しいデビューだったそうです。そして、現在の将棋界で数々の記録を塗り替えている「藤井聡太」さんの

デビュー戦の相手が、「加藤一二三」さんだったのです。実に、加藤さんのデビューから、60年以上の月日が流れた 2016年12月のことで、当時は「史上最年少棋士のデビュー戦の相手が現役最高齢」と、大きな注目を集めました。結果は、藤井さんが勝利を収め、その後無敗で29連勝という歴代一位の大記録を打ち立てる「藤井フィーバー」を巻き起こしました。ここで注目したいのが、加藤さんは公式戦の歴代敗戦数が1180と歴代一位の数を残しながらも、自身の著書「負けて強くなる」の一節で「将棋の負けに、無駄な負けはありません」という言葉を残していることです。この言葉は、将棋の世界だけでなく、これから新しい世界へ飛び出す皆さんにとっても、極めて大切な真理を突いています。義務教育を終えたこれからの人生では、常に勝ち続けることは不可能です。思い通りにいかないこと、挫折すること、自分の力不足を痛感することもあるでしょう。しかし、失敗や負けを「恥」や「無駄」だと捉えないでください。なぜ負けたのかを深く見つめ、次にはい上がろうとする時、その「負け」は「成長のための糧」へと変わります。卒業生の皆さんは、今後の人生の中で、ことあることに自らの選択を迫られ、時には大きな失敗をし、挫折を経験することもあるかと思えます。

加藤一二三 九段の通算戦歴	
【対局数】	2505 (歴代第1位)
【勝利数】	1324 (歴代第4位)
【敗北数】	1180 (歴代第1位)

**将棋の負けに、無駄な負けはありません**  
著書『負けて強くなる』から

しっぼう けいそう  
**疾風に勁草を知る**  
激しい風が吹いて初めて、折れることのない強い草が見分けられる

困難に直面した時にこそ、その人の真価が問われます

古くからの言葉に、「疾風(しっぼう)に勁草(けいそう)を知る」というものがあります。激しい風が吹いて初めて、折れることのない強い草が見分けられるという意味です。平穏な時には誰でも穏やかでいられます。しかし、逆風が吹いた時、困難に直面した時にこそ、その人の真価が問われます。皆さんも、この先の人生で逆風が吹いた時こそ、自分の芯を強くもち、しなやかに立ち向かう「勁草」のような存在であってほしいと願っています。皆さんのこれからの活躍を大いに期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様に申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。卒業までの三年間は、少女から若者へと大きく変貌を遂げる思春期の時期の中で、ご心配も多かったことと思います。その中でも絶えず、お子さまに愛情を注ぎ、そして本校の教育活動に、ご理解とご協力をお寄せいただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、卒業生の門出を祝福し、そしてこの会場に集われた皆様のご多幸を祈念して、式辞といたします。



## 卒業生「別れの言葉」

桜の蕾も見えはじめ、春の温かさを感じられる季節になりました。本日は、私たち卒業生のために盛大な式を挙げていただき、誠にありがとうございます。只今いただきました、ご祝辞や温かいお言葉を心に留め、今日、私たちは卒業します。

三年前、まだ少し大きな制服に袖を通し、不安と期待を胸に、この明桜中学校の校門をくぐった日のことを、今でもよく覚えています。新しい教室。新しい友達。新しい先生。これから始まる中学校生活に胸を躍らせていたあの頃の私たちは、きっとまだ、今日この日のことを想像できていなかったと思います。あれから三年。私たちは多くの時間を、この明桜中学校で過ごしてきました。授業中に思わず笑いが起きたこと。休み時間に友だちと話した何気ない会話。何でもない日常の一つ一つが、今では大切な思い出です。

入学後、まだ学校生活にやっと慣れ始めた頃に迎えた初めての体育祭。私たちはクラス全員で協力し、優勝を目指して全力で練習しました。その練習を通して、クラスの仲間より深まり、大きな団結力が生まれました。続く文化祭では、合唱コンクールに向けて、その団結力をさらに発揮し、どのクラスも最高の合唱を披露できるように努力しました。そんな文化祭が終わると、あっという間に二年生へと進級しました。

初めて先輩という立場になり、後輩の手本となる姿を見せられるのか不安におもいながらも、先輩になった喜びを感じていました。二学期になると、委員会活動や部活動の進行を三年生から引き継ぎ、自分たちが中心となって学校をつくり上げていく立場であることを実感しました。それと同時に、学校をよりよくしていこうと、一人一人がこれまで以上に努力するようになりました。

月日は流れ、最高学年という立場になりました。様々な行事が最後になり、これまでに身に付けたものを最大限に生かして、全身全霊で挑みました。

そして、この三年間の思い出の中でも特に心に残っているのは三年生の体育祭です。三年生の学年種目である「ムカデ競走レー」は、私たちにとって忘れられない競技になりました。私たちは三年生で初めて「ムカデ競走」に挑戦したこともあり、初めはなかなかうまく進むことができず、何度も転び、何度もやり直しました。練習していく中で少しずつ息が合うようになり、手応えを感じられるようにもなりました。しかし、迎えた本番。緊張や焦りのせいか、思うようにいかず、悔しい結果になりました。それでも、仲間と声を掛け合いながら必死に走ったあの瞬間は、私たちにとって大切な時間でした。うまくいったことも、悔しかったことも、その一つ一つが、仲間と過ごした大切な思い出となりました。

そんな私たちの中学校生活の思い出の一つが、修学旅行です。今年京都・奈良だけでなく、大阪万博にも訪れることができました。それぞれの場所で歴史や文化、そして未来の技術に触れ、多くのことを学ぶ貴重な時間となりました。友だちと同じ景色を見て、同じことで笑い合いながら過ごした時間は私たちにとってかけがえのない思い出です。

行事が終わると、私たちは「受験」という大きな壁に向き合うことになりました。最初は何をすればよいのか分からず、迷うこともありました。それでも、クラスメイトや先生方、そして家族に支えられながら、それぞれの進路に向かって努力を続けてきました。その時間の中で、私たちは仲間の存在の大きさを改めて感じました。

長いようで短かった三年間の中学校生活も今日が最後となりました。楽しいことも、悔しいことも、支え合いながら乗り越えてきた三年間でした。

在校生の皆さん、これからは皆さんがこの明桜中学校を引っ張っていく番です。学校生活の中では、楽しいことばかりではなく、大変なことや悩むこともあると思います。しかし、そんなときこそ仲間と支え合い、協力して乗り越えていってください。私たちもこの三年間、仲間とともに過ごす中で、その大切さを学びました皆さんがそれぞれの力を発揮し、互いに支え合いながら、この明桜中学校をさらに素晴らしい学校にしていくことを願っています。そして、私たちを支え、導いてくださったすべての方々に、心から感謝申し上げます。

先生方。時には優しく、時には厳しく、私たちを見守りながら導いてくださいました。

うまくいかず悩んだときには励ましてくださり、迷ったときには背中を押してくださいました。先生方の温かい言葉やまなざしがあったからこそ、私たちはここまで成長することができました。本当にありがとうございました。また、学校を支えてくださっている主事の皆様、栄養士の先生、給食調理員の皆様、PTAの皆様、地域の皆様にも心より感謝申し上げます。多くの方々に支えられて、私たちは安心して学校生活を送ることができました。

そして、いつも一番近くで支えてくれた家族の皆さん。これまで私たちを温かく見守り、励まし続けてくれて、本当にありがとうございました。時には迷惑をかけ、心配をかけることもあったと思います。それでも、誰よりも強い味方になって私たちを信じて支えてくれたことに、心から感謝しています。これから先も、まだ迷ったり悩んだりすることがあるかもしれませんが、それでもこの三年間で学んだことや出会った仲間のことを胸に、それぞれの道をしっかりと歩んでいきたいと思えます。

ここで少し、ある有名な卒業ソングの歌詞について話そうと思います。それは、森山直太朗さんの「さくら」という曲の歌詞です。この曲に何度も出てくる「さくら」という言葉は、花そのものを表すだけでなく、私たち、卒業生のことを表しているように、私は歌っている中で感じました。「さくら」が咲き誇るように、私たち一人一人が、それぞれの力を最大限に発揮しながら、この三年間の学校生活を送ってきたことや、これからの生活に期待を抱きながら、それぞれの道に向かって旅立ち、舞い上がっていく様子が想像できます。みなさんも別れの歌ではなく、「明桜中学校を巣立ち、これからの人生を自分の意思で切り拓いていく」という決意の歌として歌うと良いかもしれません。

振り返ると、この三年間の一日一日が、かけがえのない時間だったと感じます。この三年間で学んだことを大切に、これからの人生に生かしていきます。

最後になりますが、明桜中学校がこれからもよりよい学校として発展していくことを願い、答辞とさせていただきます。



在校生「送る言葉」



冬の寒さも和らぎ、春の温かさを感じられる季節となりました。教室を包むやさしい日差しは、皆さんの門出を祝うかのように感じます。本日、晴れて卒業を迎えられた三年生の皆さん、ご卒業おめでとございます。在校生を代表し、心からお祝い申し上げます。

今振り返ってみると、皆さんと過ごした二年間は、あっという間の日々でした。私たちの入学式の日。緊張と不安でいっぱいだった私たちを、皆さんは明るい笑顔で迎えてくださいました。入学式が終わった後、小学校の先輩に優しく声をかけていただき、心が和らいだことを今でも覚えています。その日から先輩方は、私たちにとって憧れの存在になりました。私たちはそんな憧れの先輩方の背中を追って、中学校生活を送ってきました。

そして今年度、最高学年となられた皆さんは、より一層輝いていました。五月に行われた体育祭。思いのこもった応援旗を振り、クラスの垣根なく互いを応援する姿に、私たちの心は動かされました。三年生の学年種目であるムカデ競走では、仲間と一步一步息を合わせて進む姿や、ペースが乱れたときでも自分たちで立て直し、再び走り出す姿に、自然と応援する声が出て、会場全体が盛り上がりました。また、最後のチームがゴールするまで応援を続ける三年生に、学年全体の強い絆を感じました。

秋に行われた合唱コンクール。三年生の学年合唱は「大地讃頌」でした。三年生の力強い歌声が重なり合うことで、自然の壮大さと美しさを感じ、感動しました。クラス合唱では、難易度の高いアカペラや美しいハーモニー、そしてレベルの高い指揮や伴奏が披露されました。三年生の合唱からは、一人一人が真剣に取り組み、練習を積み重ねてきたことが伝わりました。私たちも先輩方のように、聞いている人に感動を与えられるような合唱をしたいです。

先輩方は、普段の学校生活においても、私たちの手本となる姿を見せてくださいました。部活動で、自分の時間を割いて練習に付き合ってくださったり、委員会で運営やキャンペーンの進め方についてアドバイスをくださったりと、私たちの目に映る先輩方は、いつも優しく、頼もしい存在でした。

そんな先輩方が、明桜中からいなくなると思うと、寂しさと心細さを感じてしまいます。「後輩にかっこいい姿を見せられるだろうか」「頼りになる先輩になれるだろうか」… 不安をあげたらキリがありません。しかし、そう思うのも今日で最後にします。皆さんから受け取った学びや感動を、しっかりと次の世代に繋ぎ、さらに発展させていきます。今まで私たちを支え、導いてくださり、ありがとうございました。

これから皆さんは、夢に向かって歩んで行かれることと思います。その道のりでは、楽しいことや嬉しいことがある反面、困難に直面することもあるかもしれません。もし、途中で立ち止まってしまうことがあったら、これまで歩んできた道を振り返ってみてください。皆さんが明桜中で過ごした三年間が、再び前進する活力になることを願っています。皆さんが夢に向かって進んでいく姿を、在校生一同、心より応援しています。

最後になりましたが、先輩方のさらなるご活躍を願い、送る言葉とさせていただきます。

令和8年3月19日 在校生代表 ○○ ○○○

卒業証書授与



192名の卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました。授与の前から感極まっている生徒もいましたが、笑顔で、凛々しいすてきな表情でした。



卒業生学年合唱「さくら」



♪ さらば友よ またこの場所で会おう さくら舞い散る道の上で

式歌「旅立ちの日に」



♪ いま、別れのとき 飛び立とう 未来信じて 弾む若い力 信じて このひろい このひろい 大空に

校歌斉唱「思い遙か」



♪ 思い遙か 散る花びらの向こうに 時を超えて咲く明日の桜を信じて 夢を信じて

## 3月20日(金曜日) 演劇部・吹奏楽部合同スプリングコンサート

卒業式翌日の祝日、毎年恒例の「演劇部」及び「吹奏楽部」のスプリングコンサートを開催しました。朝から冷たい雨模様となりましたが、昨日卒業した3年生や昨年度までの卒業生、在校生や部員の保護者、また昨年度まで明桜中に在職していた先生などたくさんの方に来場していただきました。

◆前半は、演劇部による新作「I want to meke cry.」の演目でした。「『三年、泣かずぞー！』とある学校の演劇部、そこでは卒業式後に変わったイベントがあって…？先輩と後輩の負けられない闘いが始まる……?!」今年1月の東京都の発表会后に、1・2年生の部員で新作舞台の公演に向けて、舞台稽古はもちろんのこと大道具や小道具なども制作も同時に行い今日の日を迎えました。堂々とのびのある演技で、笑いあり・感動ありの素敵な時間が流れました。4月からは、新たな1年生を迎え、新生明桜中演劇部が始動していきます。

◆後半は、吹奏楽部から「YOASOBI『勇者』」、「SG『僕らまた』」、「Mrs. GREEN APPLE『クスシキ』」、「ジブリメロディー」の4曲を披露しました。ヒット曲や子供からの懐かしい曲までとても元気と勇気をもらえる時間でした。祝日だったので、明桜中の先生方の未就学児の子どもたちもたくさん会場に来てくれていて、たくさんの笑顔が広がりました。今後も、さまざまな場面で聴く人を笑顔にそして元気を与えられる演奏をよろしくお祈いします。



## 令和8年度、新1年生・215名を加えて新たな明桜中を築いていきます

来年度4月から、新1年生の通常の学級は3月25日時点で198名の生徒が入学する予定で6学級になります。現在、各階の教室は「1組・2組・多目的室・3組・4組・5組」と並んでおり、中央の「多目的室」で英語の少人数授業を行っています。しかし、4月からは1フロアに6教室必要となるため、3月になり「多目的室」の普通教室化に向けた工事を進めています。「多目的室」は各階のオープンスペースと合わせ広い空間にするため廊下との間に掲示板がありません。そのため、教室の扉を固定して掲示スペースがとれるよう作業を進めていただいています。明桜中の学区域の小学校の児童は、しばらく6学級が続く見込みのため、少し窮屈な環境になりますが、少しでも生活しやすい環境構築を進めてまいります。



また、特別支援学級はこれまで「6組」と呼んでいましたが、4月からは「7組」と名称変更します。1年7組の生徒は17名が入学見込みで、新1年生が215名となります。そして、新2年生178名・新3年生175名と合わせ、全校生徒568名（3月25日現在）となり、さらに活気を増した明桜中学校になります。今後の生徒たちの活躍にご期待ください。

### 【保護者・地域の皆様へ】今年度の教育活動にご理解とご協力ありがとうございました

令和7年度の教育活動に皆さまのご理解とご協力をいただきありがとうございました。本校の生徒には、とても活気と爆発力があります。時に教員からの指導や地域の皆さまにご迷惑をお掛けしたこともありますが、失敗したことは素直に振り返り改善していこうとする場面がたくさんありました。まだまだ、発展途上の点もたくさんありますが、引き続き保護者そして地域の皆さまにご支援をいただき、生徒の成長を見守っていただければ幸いです。

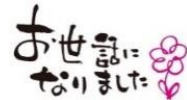
次年度さらに、生徒の活躍の場を広げ、『豊島に生まれて20年 明桜中から豊島に「あいさつ」を届ける』をスローガンに、教育活動を推進してまいりますので今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

今年度の明桜中の様子を、毎日の更新を目標にホームページにてお知らせしてきました。なお、令和7年度の更新は、北区のメンテナンス作業の都合により、3月17日正午で終了となりました。そのため、3月17日以降の記事については、新年度まとめて更新する予定です。今後も明桜中ホームページを確認してもらい、後輩たちの活躍を卒業後も注目してくれるとうれしいです。



# 令和7年度末異動教職員のお知らせ

令和7年度末に本校を去る教職員です。  
なお、新年度の着任者は4月号でお知らせします。



氏名 職名 教科等 本校在職年数 転出先

個人情報のため不記載とします

## 令和8年度の学校行事予定

令和8年度一年間の展望  
(将来の見通し、方向性、可能性)を  
しっかりもち、1年後のあるべき自分像  
を春休み中に考えよう!!

### 4月 主な予定

5(月)	春季休業日終
6(月)	始業式・着任式、入学式準備 ※給食なし
7(火)	<b>第20回入学式</b> ※給食なし
8(水)	①～③学活・授業等 ※給食なし 小学校入学式(PM)
9(木)	給食開始 教科書配付
10(金)	個人生徒写真
13(月)	全校朝礼
16(木)	身体計測【体育着登校】
17(金)	北区基礎・基本定着度調査
20(月)	全国学力学習状況調査(質問紙・英語3技能:3年)
22(水)	北区教育研究会【教員出張日】給食後下校
23(木)	全国学力学習状況調査(国語・数学:3年) 各種委員会・中央委員会
24(金)	特支新入生・転入生を迎える会(7組)
25(土)	土曜日授業①(公開なし)・SF引き渡し訓練

### 5月以降の主な予定

5/2(土)	土曜授業(給食あり、午後保護者会) ※5/7(木)振替休業日
5/11(月)	内容確認テスト(3年)
5/24(日)	体育祭 ※5/25(月)振替休業日、5/26(火)体育祭予備日
6/10(水)～	定期考査①【～12(金)】
6/18(木)～	7組岩井宿泊学習【～19(金)】
7/17(金)	夏休み前最終登校日・前期通知表配付(3年)
7/21(火)	三者面談(全学年)【～7/28(火)】
8/1(土)	岩井臨海学園(1年)【～8/2(日)】
9/4(金)～	定期考査②【～9/5(土):土曜日授業②(公開なし)】
9/15(火)～	EC那須(2年)【～9/17(木)】
10/7(水)～	修学旅行(3年)【～10/9(金)】
10/9(金)	1学期終業式
10/13(火)	2学期始業式
10/24(土)	文化祭 ※10/26(月)振替休業日
11/4(水)～	定期考査③【～11/6(金)】
11/25(水)～	職場体験(2年)【～11/27(金)】
12/1(火)～	三者面談【～12/5(土)】
12/5(土)	土曜授業(給食あり、午後三者面談) ※11(金)振替休業日
12/25(金)	冬休み前最終登校日・中期通知表配付(3年)
1/16(土)	土曜日授業③(道徳授業地区公開講座)
2/24(水)～	定期考査④【2/26(金)】
3/19(金)	第20回卒業式
3/23(火)	保護者会(1・2年)
3/25(木)	令和8年度修了式

◆現時点での予定です。変更が生じる場合は改めてお知らせします。また、詳細は月末に翌月の行事予定表をtetoruで配信しますのでご確認願います。